

活力ある住みよい長崎をめざして

市民クラブは、平成27年10月1日に田上富久市長に対し、平成28年度予算編成に向けての政策要求書を提出しました。

8項目の政策大綱

- ①新しい行政運営
②人間性を育み、生きがいと思いやりのあるまちづくり
③環境と共生するまちづくり
④産業活動を育む活力あるまちづくり
⑤安全、快適で魅力あるまちづくり
⑥核兵器廃絶・世界平和を希求する長崎づくり
⑦男女共同参画社会の実現
⑧道路交通体系の整備

平成28年度の主な重点課題

- 長崎市新市庁舎建設基本計画の基本設計や建設時期については、早急に結論を出すこと。
大型事業（長崎駅周辺整備、端島（軍艦島）整備等）については、事業計画、施設整備や事業費など、十分に精査して、議会に適宜報告していくこと。
公会堂廃止後の文化施設については、公会堂機能を有する施設となるよう県との協議に臨み、県庁舎跡地活用を結論を早急に出すこと。
長崎みなとメディアカルセンター市民病院は、医療サービスの向上はもとより、安定した高度医療・周産期医療を提供できる病院として安定経営を構築すること。
企業誘致で雇用確保、定住人口の維持
長崎駅周辺の環境整備
住宅リフォーム助成制度を継続して充実を図ること。
長崎バイパス・女神大橋・川平有料道路の早期無料化を実現すること。

長崎市議会議員



だより 55号 清隆 いつわ

平成28年1月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032

福州市友好都市提携35周年記念訪問団に参加

昨年、11月9日（月）～13日（金）に実施された、中国（福州市）との友好都市提携35周年記念訪問団の一員として参加してきました。



上水道の運営会社事務所前にて

長崎と中国は400年以上も前から交流があり、長崎に住む華僑の方の多くが福州市出身であることから、両市は1980年（昭和55年）に友好都市提携を行い、今日まで公式訪問団の相互派遣や水道・水産分野における技術交流など、様々な分野で交流を行っています。



水道分野の訪問団を代表して謝辞を述べる

見学し、水道技術交流が協議されたことがきっかけとなり、平成3年11月、長崎市から3名の技術交流訪問団が福州市を訪れ両市の技術が始まり、今年で24年目を迎えています。福州市には現在5か所の浄水場があり1か所を建設中でありました。

安全管理については、24時間体制で警備が行われ、防犯システムが強化され外部からの不法侵入対策がなされています。（国策で取り組んでいるそうです）

おげま〜しておめでとうござります

ご家族お揃いで健やかな、お正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、皆さま方には絶大なご支援・ご協力を賜り改めて感謝申し上げます。

特に4月に施行されました長崎市議会議員選挙に際しましては、激戦の中、

喫緊の諸課題の解決に努めます

長崎市の喫緊の課題は人口減少問題であります。長崎市の人口は2010年時点で44万4千人から、2060年には24万2千人まで減少し、65歳以上の人口比率は23%から40%になる見込みと予想されています。

長崎市も国からの要請を受けて、平成28年3月までに「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定して

ありますが、人口減少に歯止めをかけるための政策が急務となっております。

今年もご指導・ご支援をお願い致します

今日まで、皆さま方のご支援・ご協力により長崎市議会議員として活動することが出来ましたことに対して改めて感謝いたします。

私は市民の皆さんが「長崎に住んでいて良かった」と実感できるような「安全で安心して生活できる環境づくり」に向けて更に努める決意であります。

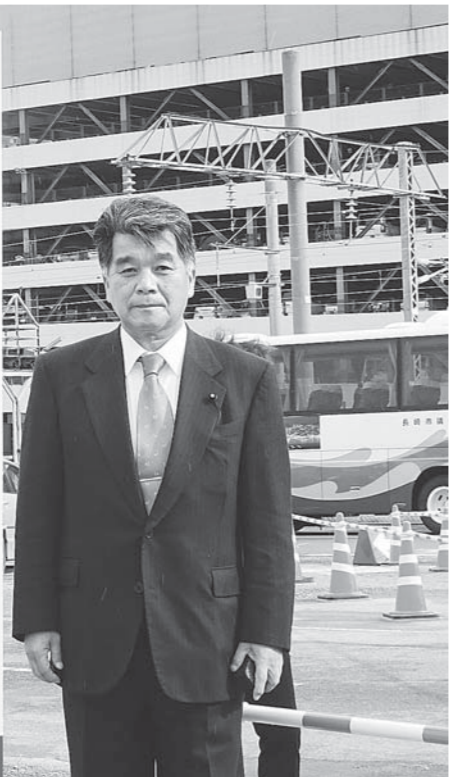
今年も大変お世話になりますが、旧に倍するご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

結びに、皆さまのご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

長崎市議会議員 五輪 清隆

安全祈願会場

長崎駅高架橋工事



九州新幹線（西九州）、

謹賀新年

九州新幹線(西九州)長崎駅高架橋工事安全祈願にて(平成27年12月17日)



約22億6,400万円(一般会計補正予算) 46議案可決、1議案否決!

平成27年11月議会

平成27年第6回長崎市議会定例会は、11月27日(金)から12月16日(水)までの日程で開催され、一般会計補正予算(約22億6400万円)条例改正・人事案件など46件は可決しましたが、新市立病院の雨水渠(うすいきよ)を誤って損傷する問題により、市立病院機構中期計画を変更する議案は全会一致で否決となりました。

可決された議案の中の給与条例改正案は、職員の不適切な事務処理などの責任を取り、今年1月から3月の給与について市長(20%)、副市長(10%)、上下水道局長(5%)減額することも可決されました。

また、議員提案の「教育現場の実態に即した教職員定数の充実等に関する意見書」は全会一致、「九州新幹線西九州ルート整備促進に関する意見書」は賛成多数で可決されました。

補正予算の主な内容



出津教会(外海地区)

◆世界遺産登録推進事業費
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」…2,400万円
「長崎の教会群とキリスト教」

◆ラグビーワールドカップキヤンプ誘致推進費
…879万9千円
ラグビーワールドカップキヤンプ誘致において、スコットランドラグビー協会からの視察団を受入れるための経費及び今後の誘致交渉に係る経費について増額補正するもの。

◆高齢者施設開設準備費補助金…4,098万6千円
小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型

居宅介護事業所並びに認知症対応型共同生活介護事業所の開設準備に要する経費に對して助成するもの。

- ・対象施設 6ヶ所(立山5丁目、松原町、昭和1丁目、豊洋台1丁目、小江原1丁目、小浦町)
- ・補助額 62万1千円×(宿泊)定員数
- ・開設予定時期 平成28年3月～10月

◆乳幼児医療対策費
…905万円
小学校就学前の乳幼児に係る医療費の一部を助成するものであるが、平成27年度における支給件数等が、当初の見込みを上回るにより予算の不足が見込まれるため、増額補正するもの。

◆民間保育所等施設型給付費保育所
…5億9,157万9千円
民間保育所の運営に必要な費用を負担するものであるが、平成27年度における入所児童数、運営費単価及び加算額が、当初の見込みを上回るにより予算の不足が見込まれるため、増額補正するもの。

◆高齢者等インフルエンザ予防接種費
…3,860万8千円
高齢者等を対象としたインフルエンザ予防接種に係る費用

フルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成するものであるが、インフルエンザワクチン単価の増に伴い接種委託料が増となったこと及び平成27年度における接種者数が、当初の見込みを上回るにより予算の不足が見込まれるため、増額補正するもの。

◆消防団活動費(災害防衛費)
…387万6千円
消防団員の水火災等の出勤に對する費用弁償において、台風15号の警備(8月24日～25日)に多数の消防団員による警戒が必要となったことから、当初の見込みを上回るにより予算の不足が見込まれるため、増額補正するもの。

◆市民プール施設整備事業費
…1,080万円
市民総合プールにおいて、経年劣化した流水プールの底板の防水塗装を行うもの。

長崎市中期財政見通し(平成28年度～32年度)

今回の見通しでは、行財政改革による人件費の減少が見込まれる一方、長崎駅周辺土地区画整理事業やJR長崎本線連続立体交差事業などの大型事業が予定されていることによる投資的経費の増加や、子ども・子育て支援新制度関連事業費の増加などの影響により、扶助費が増加する見込みです。また、平成27年度以降、普通交付税の合併算定替が段階的に縮減(平成33年度には平成25年度比で約38億円の減額)される一方、当該影響額の6割程度は新たな財源措置があるものと試算しています。更に、これまでに引き続き収支改善を行うことで、期間中(平成28年度～平成32年度)の収支のバランスを確保できる見込みです。

◎長崎市の収入(歳入)の状況はどのようになっているのですか?
収入は、中核市平均の8割程度しかなく、非常に低い水準となっています。(平成26年度の中核市43市中、長崎市は39位)

◎市税収入の中身はどのようになっているのですか?
収入は、中核市平均の8割程度しかなく、非常に低い水準となっています。(平成26年度の中核市43市中、長崎市は39位)

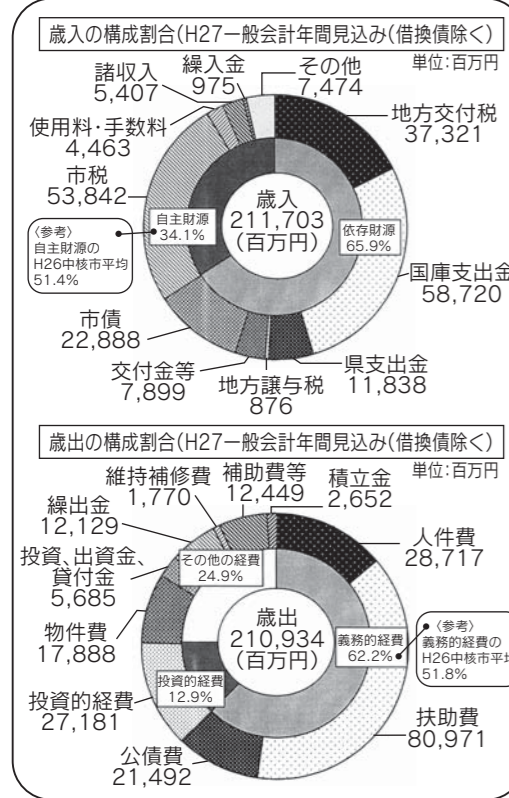
◎収入の内訳にある地方交付税とは何ですか?
地方交付税とは、全国の自治体が一定水準の行政サービスを行うことができるよう、国が徴収した国税の一部を、

◎長崎市の支出(歳出)の状況はどのようになっているのですか?
支出が義務付けられ任意

◎長崎市の財政は破綻することはありますか?
財政健全化法に基づく指標によると、長崎市の財政状況は「イエローカード」には達していません。

◎長崎市の財政には独自の行政サービスを行うための余裕がありますか?
財政の硬直化の度合を示す指標である「経常収支比率」をみると、長崎市は年々改善傾向にあります。中核市平均と比べて数値が高くなっています。

◎長崎市の財政は破綻することはありますか?
財政健全化法に基づく指標によると、長崎市の財政状況は「イエローカード」には達していません。



- 人件費…職員の給与などに係る費用
- 公債費…過去に借り入れた市債(借金)の返済に係る費用
- 扶助費…生活保護、障害者支援などの福祉に係る費用
- 投資的経費…学校、道路、公園など公共施設の整備に係る費用

九州新幹線西九州ルートの整備促進に関する意見書

九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大等につながる重要な交通基盤であるとともに、長崎市の発展においても極めて重要な役割を担うものであり、一日も早い全面開業が期待されています。

この西九州ルートについては、新鳥栖・武雄温泉間はフリーゲージトレインの導入を前提に在来線を活用し、武雄温泉・長崎間はフル規格で整備するという工事実施計画の認可のもと、平成34年度の開業に向け工事が進んでいます。しかしながら、このフリーゲージトレインについては、平成26年2月の国土交通省の軌間可変技術評価委員会において「軌間可変台車の基本的な耐久性の確保に目処がなかった」とされて、同年10月から3モード耐久走行試験が開始されたものの、約3万キロメートルを走行した時点で不具合が発生し、同年11月から走行試験が休止されています。そのような中で、国土交通省からは平成27年12月4日の軌間可変技術評価委員会において、試験再開は早くても来年度後半との報告がなされ、技術開発や量産車の製造が遅延する一方で、平成34年度の全面開業に向けた具体的な対応策は示されておられません。

長崎市は、平成34年度開業を前提として、新幹線開業を地域活性化の起爆剤とするために、長崎駅周辺再整備事業などに多額の投資を行いまちづくりを進めておりました。こうしたこれまでの地域の努力を無駄にしないために、「完成・開業時期を平成34年度から可能な限り前倒しする」という平成27年1月の政府・与党申し合わせの実現が求められております。

よって、国におかれては、次のとおり対応されるように強く要望いたします。

1. 「完成・開業時期を平成34年度から可能な限り前倒しする」という政府・与党申し合わせを厳守すること。
2. 当該申し合わせの実現に向け、具体的な対応策を早急に取りまとめること。
3. 当該対応策について、本市及び西九州ルートの地元関係者に対し、早急に説明し、十分な調整を行い合意を得ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年12月16日
長崎市議会